

県南・両毛版

SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE



カレーライスなどに舌鼓を打つ子どもたち

子ども食堂スタート

勉強と食事、20人利用

栃木市初、次回は27日

【栃木】親の就労などで孤食になりがちな子どもたちに食事や学習の場を提供する市内初の子ども食堂が6日、城内町2丁目の特別養護老人ホーム「蔵の街ひまわり」にオープンした。市内の未就学児や小中学生計20人が勉強に励み、昼食時には具だくさんのカレーライスなどに舌鼓を打った。(吉田隆則)

食堂は、同ホームを運営する都賀町原宿の社会福祉

法人「スイートホーム」を中心とした運営委員会が運営。食材の野菜はJAしもつけが提供し、調理は地元ボランティア、学習指導は市内の元教員や宇都宮大の学生が協力している。

子どもたちは午前中いっぱい机に向かい、夏休みの宿題に没頭。待ちに待った昼食の時間では、カレーライスやカボチャの煮物、ナスの煮浸しなど栄養満点のメニューを存分に味わった。

子ども食堂は、親の仕事の都合で孤食になったり、経済的な理由で満足に食事が取れなかったりしがちな子どもたちに食事を提供する場として県内でも浸透しつつある。今回の子ども食堂は市ひとり親家庭福祉会から相談を受けた同法人が

中心となり、3月から市、市社会福祉協議会などと協議を進めていた。市は運営資金の一部を補助する。

同法人の佐々木剛総合

施設長は「多くの方の協力で実現できた。今後もさまざまな形で子どもたちへの支援の輪が広がることを望ましい」と期待を込めた。

次回は27日に開催し、9月以降は第2土曜日に開く予定。参加費300円。

蔵の街ひまわり0282・21・8807。